

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成23年8月4日 (2011.8.4)

【公開番号】特開2011-101653(P2011-101653A)

【公開日】平成23年5月26日 (2011.5.26)

【年通号数】公開・登録公報2011-021

【出願番号】特願2010-291335(P2010-291335)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

A 0 1 H 1/00 (2006.01)

A 0 1 H 5/00 (2006.01)

A 0 1 H 1/02 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

A 0 1 H 1/00 A

A 0 1 H 5/00 A

A 0 1 H 1/02 Z

【手続補正書】

【提出日】平成23年6月16日 (2011.6.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ガンマコイキシン活性を有するポリペプチドをコードする DNA 分子であって、

( a ) 配列番号 1 6 の核酸配列によってコードされるポリペプチドをコードするポリヌクレオチド配列と、

( b ) 配列番号 1 6 の核酸配列を含むポリヌクレオチド配列と

よりなる群から選択される核酸配列を含み、該 DNA 分子に対して天然でないプロモーターに作動可能に連結した DNA 分子。

【請求項 2】

該核酸配列が、配列番号 1 6 の核酸配列を含むポリヌクレオチド配列を含む請求項 1 に記載の DNA 分子。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の DNA 分子を含む稔性を有するトランスジェニック植物。

【請求項 4】

該 DNA 分子が配列番号 1 6 の核酸配列を含む請求項 3 に記載の稔性を有するトランスジェニック植物。

【請求項 5】

該 DNA 分子を含む請求項 3 に記載の植物のいずれかの世代の子孫植物。

【請求項 6】

該植物が、イネ、コムギ、オオムギ、ライムギ、ソルガムおよびトウモロコシよりなる群から選択される単子葉植物である請求項 3 に記載の稔性を有するトランスジェニック植物。

【請求項 7】

該単子葉植物がトウモロコシである請求項 6 に記載の稔性を有するトランスジェニック

植物。

【請求項 8】

該植物が、タバコ、トマト、ジャガイモ、大豆および綿よりなる群から選択される双子葉植物である請求項 3 に記載の稔性を有するトランスジェニック植物。

【請求項 9】

請求項 3 に記載の稔性を有するトランスジェニック植物またはそのトランスジェニック子孫植物を、その植物自体または第 2 の植物と交雑させるステップを含む植物育種の方法。

【請求項 10】

ターミネーター活性を示す DNA 分子であって、

(a) 配列番号 11 の核酸配列を含むポリヌクレオチド配列と、

(b) 配列番号 11 の核酸配列のフラグメントを含むポリヌクレオチド配列と

よりなる群から選択される核酸配列を含み、該 DNA 分子が該 DNA 分子に対して天然でない転写されるポリヌクレオチドに作動可能に連結した DNA 分子。

【請求項 11】

該フラグメントが配列番号 11 の核酸配列の少なくとも 80 の連続ヌクレオチドを含む、請求項 10 に記載の DNA 分子。

【請求項 12】

該フラグメントが配列番号 11 の核酸配列の少なくとも 200 の連続ヌクレオチドを含む、請求項 11 に記載の DNA 分子。

【請求項 13】

該フラグメントが配列番号 11 の核酸配列の少なくとも 325 の連続するヌクレオチドを含む、請求項 12 に記載の DNA 分子。

【請求項 14】

該核酸配列が配列番号 11 の核酸配列を含むポリヌクレオチド配列を含む、請求項 10 に記載の DNA 分子。

【請求項 15】

請求項 10 に記載の DNA 分子を含む稔性を有するトランスジェニック植物。

【請求項 16】

該核酸配列が配列番号 11 の核酸配列を含むポリヌクレオチド配列を含む、請求項 15 に記載の稔性を有するトランスジェニック植物。

【請求項 17】

該 DNA 分子を含む請求項 15 に記載の植物のいずれかの世代の子孫植物。

【請求項 18】

該植物が、イネ、コムギ、オオムギ、ライムギ、ソルガムおよびトウモロコシよりなる群から選択される単子葉植物である、請求項 15 に記載の稔性を有するトランスジェニック植物。

【請求項 19】

該単子葉植物がトウモロコシである請求項 18 に記載の稔性を有するトランスジェニック植物。

【請求項 20】

該植物がタバコ、トマト、ジャガイモ、大豆および綿よりなる群から選択される、請求項 15 に記載の稔性を有するトランスジェニック植物。

【請求項 21】

請求項 15 に記載の稔性を有するトランスジェニック植物またはそのトランスジェニック子孫植物を、その植物自体または第 2 の植物と交配するステップを含む植物育種の方法。

【請求項 22】

ターミネーター活性を示す DNA 分子であって、

(a) 配列番号 17 の核酸配列を含むポリヌクレオチド配列と、

(b) 配列番号 17 の核酸配列のフラグメントを含み、該フラグメントが配列番号 17 に記載の核酸配列の少なくとも 50 の連続するヌクレオチドを含むポリヌクレオチド配列と

からなる群から選択される核酸配列を含む、ターミネーター活性を示す単離 DNA 分子。

【請求項 23】

該 DNA フラグメントが配列番号 17 の核酸配列の少なくとも 120 の連続するヌクレオチドを含む、請求項 22 に記載の単離 DNA 分子。

【請求項 24】

該フラグメントが配列番号 17 の核酸配列の少なくとも 220 の連続するヌクレオチドを含む、請求項 23 に記載の単離 DNA 分子。

【請求項 25】

該フラグメントが配列番号 17 の核酸配列の少なくとも 300 の連続するヌクレオチドを含む、請求項 24 に記載の単離 DNA 分子。

【請求項 26】

該核酸配列が配列番号 17 の核酸配列を含むポリヌクレオチド配列を含む、請求項 22 に記載の単離 DNA 分子。

【請求項 27】

請求項 22 に記載の単離 DNA 分子を含む稔性を有するトランスジェニック植物。

【請求項 28】

該核酸配列が、配列番号 17 の核酸配列を含むポリヌクレオチド配列を含む、請求項 27 に記載の稔性を有するトランスジェニック植物。

【請求項 29】

該単離 DNA 分子を含む請求項 27 に記載の植物のいずれかの世代の子孫植物。

【請求項 30】

該植物が、イネ、コムギ、オオムギ、ライムギ、ソルガムおよびトウモロコシからなる群より選択される単子葉植物である、請求項 27 に記載の稔性を有するトランスジェニック植物。

【請求項 31】

該単子葉植物がトウモロコシである、請求項 30 に記載の稔性を有するトランスジェニック植物。

【請求項 32】

該植物が、タバコ、トマト、ジャガイモ、大豆および綿よりなる群より選択される双子葉植物である、請求項 27 に記載の稔性を有するトランスジェニック植物。

【請求項 33】

請求項 27 に記載の稔性を有するトランスジェニック植物またはそのトランスジェニック子孫植物を、その植物自体または第 2 の植物と交雑させるステップを含む植物育種の方法。

【請求項 34】

請求項 23 ~ 25 のいずれかに記載の単離 DNA 分子を含む請求項 27 に記載の稔性を有するトランスジェニック植物。

【請求項 35】

請求項 22 に記載の単離された DNA 分子を含むトランスジェニック植物の種子。

【請求項 36】

請求項 23 ~ 25 のいずれかに記載の単離 DNA 分子を含む請求項 35 に記載のトランスジェニック植物の種子。

【請求項 37】

配列番号 17 に記載の核酸配列を含む、請求項 35 に記載のトランスジェニック植物の種子。

【請求項 38】

該種子が、イネ、コムギ、オオムギ、ライムギ、ソルガムおよびトウモロコシよりなる

群から選択される単子葉植物のものである、請求項 35 に記載のトランスジェニック植物の種子。

【請求項 39】

該単子葉植物がトウモロコシである、請求項 38 に記載のトランスジェニック植物の種子。

【請求項 40】

該種子が、タバコ、トマト、ジャガイモ、大豆および綿よりなる群から選択される単子葉植物のものである、請求項 35 に記載のトランスジェニック植物の種子。